

(教養試験 短期大学卒業程度)

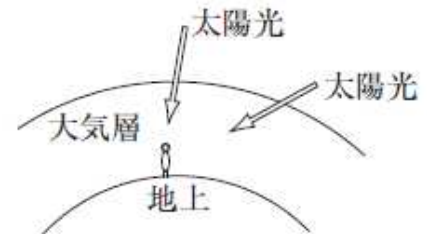
N 0 . 1 最近の日本の財政事情に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 国の一般会計歳出を主要経費別に見ると、近年では公共事業関係費が最も多く、全体の約4割を占めている。次いで社会保障関係費が多く、約2割を占めている。
2. 国の一般会計歳入を主要科目別に見ると、2014年は消費税増税により税収が大幅に伸びて租税・印紙収入の割合は約8割となり、公債金収入の割合は2割にも満たなくなった。
3. 国税と地方税を合わせて直接税と間接税の比率を見ると、2014年の消費税増税により従来 $5:5$ から $4:6$ になり、間接税の方が多くなった。
4. 都道府県別に財政状況を見ると、東京や神奈川、愛知、大阪といった大都市圏は、地方に比べ税収も多いが歳出もそれ以上に多く、財政力が弱い傾向にある。
5. 租税負担率と社会保障負担率の合計が国民所得に占める割合を国民負担率という。国民負担率は、日本は北欧諸国やドイツ、フランスよりも低い。

正答番号 5

N 0 . 2 光の性質に関する次の文中のア～エに入るものがいずれも正しいのはどれか。

光が空気中の分子や小さなちりなどに当たると、通常の反射とは異なりいろいろな方向に進路を変える。これを光の と言い、その割合は波長が短いほど大きい。晴れた日の昼間の空が青く、夕焼けが赤く見えるのはこの性質によるものである。



図は観測者と太陽光の模式図である。昼間は太陽高度が高く、された青い光がいろいろな方向から観測者の目に入る。一方、夕方になると太陽高度は低くなり、光が大気層を通過する距離は。このため、波長の青い光は上空で失われて、波長の赤い光が他の色よりも多く観測者の目に届くことになる。

- | | ア | イ | ウ | エ |
|----|----|------|----|----|
| 1. | 散乱 | 短くなる | 長い | 短い |
| 2. | 散乱 | 長くなる | 短い | 長い |
| 3. | 散乱 | 長くなる | 長い | 短い |
| 4. | 分散 | 短くなる | 長い | 短い |
| 5. | 分散 | 長くなる | 短い | 長い |

(教養試験 短期大学卒業程度)

N 0 . 3 正方形の紙を、図 I のように①～⑤の順番に点線に沿って谷折りにしていく。折り曲げた⑤の紙を、ある直線に沿ってはさみで切り、切り分けられた一方を広げたところ、図 II のようになった。⑤においてはさみを入れた直線を破線で示したものはどれか。

図 I

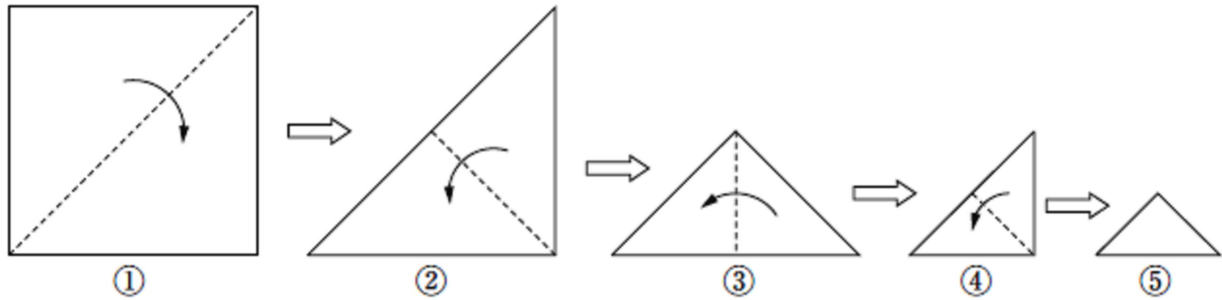


図 II

